

6月14日 なえ取り

今日は、なえ取り。明日行う田植えをサクサクやるために、育苗トレイから一にぎり分ずつ苗をとり、わらでしばっておく仕事です。

今年のなえはとてもよく育ち、(育ちすぎてしまったと先生は言ってたけど…)緑のヘアーがもさもさしげっていました。



はじめに、赤坂さんからなえ取りの仕方を教わりました。なえをとって、わらでくるくるっとしばるのね。うん、簡単そう。

こんなかたまりをもらったけど、なえがからまっていてどうやってとったらいのか???



なんとか苗をとれたけど、どうやってしばるの

「こうやってしばるんだよ。」
親指をうまく使ってしばるんだね。「鉄腕ダッシュ」で見たことあるけど、なかなか難しい。





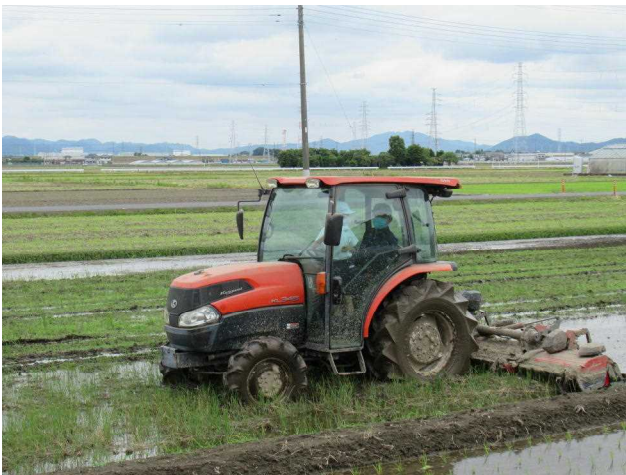
やり方が分かったぞ。あちこちで「できた!」の音が聞こえてきました。「なえのお代わりをください。」と先生に言っている人もいました。そして、



45分でこんなになえ取りできました。明日の田植えが楽しみ p(^-^)q

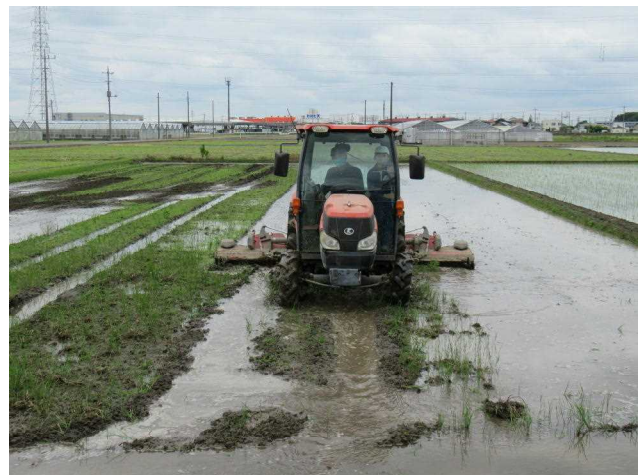
6月14日 しろかき

なえ取りが終わったら、しろかき。田んぼにはもう水が入っていました。でも、草がいっぱい。前にせっかく田おこしをして、草がなくなっていたかと思っていたのに。やっぱりあの時、草をとっておけばよかったのかな。



水たまりのある草ぼうぼうの畑を進むトラクター。まだまだ田んぼには見えません。

でも、トラクターが通った後を見ると、「あっ、草がない。田んぼになってる。」



あっという間に、水と土だけの田んぼができました。明日はここで田植え。いい天気でありますように。

6月15日 田植え

いよいよ田植え。昨日用意した苗を田んぼに植えます。まずは、機械で植えます。私たちは、田植え機に乗せてもらい、機械の「手」が田植えするのを間近で見ることができました。昨日私たちが苦勞してとった苗を、機械の「手」はとても簡単にとって植えていました。ちょっとくやしい。



さあ、いよいよ私たちの番。もう、去年やったので、植え方のコツも分かります。PTAの役員さんたちに教えるつもりでどんどん植えていきました。



ということで、私たち5年生の出番はここまで。用水路で足を洗って、4年生にバトンタッチ。



この機械を作った人は天才ですね。社会科で勉強した、「この機械のおかげで、田植えが1人で、しかも速くできるようになった」というのが、とてもよくわかりました。ところで、右の赤い歯車は何だったのだろう。



あっ、4・6年生の分も残しておかないと…





はい、ここからは、4年生です。私たちははじめてなので、赤坂さんから植え方をよく教えてもらいました。

「あれ、どうやるんだっけ？」
と相談しながら、楽しく植えることができました。



まだ、ちょっとおしりが逃げてしまう人が多かったけどね。

あれっ、校長先生、ズボンが汚れてます。転ん
じゃったのかな？ ナイスファイトですね。
＼(=◇=)／ ＼(o◇o)／



以上、4年生でした。



6年生は、最後の田植え。ちょっとさびしい気分
で土の感触を確かめている子もいました。

でも、さすが6年生でしょ。植え始めたら、み
んなとても速いスピードでどんどん植えていきま
す。



機械には負けるけど、丁寧にしかも早く植えてい
ます。いつもよりも多めに植え続けました。



6年生になると、足が汚れても、ワイルドにガシ
ガシ植えることができます。泥だらけになるのが
楽しいと感じている人もいます。下級生のみんな
も見習ってね。



その構えは…ちょっと待って、水かけないでよ。
6年生は最後まで楽しみました。今年の収穫が楽
しみだね。



6月28日 農薬散布

子どもたちが田んぼの前に集まっています。何を
しているのでしょうか。空中に何か飛んでいるよ
うです。虫か、鳥か、それとも…



ドローンだ！いったい田んぼの上で何をしている
のでしょうか。

実は、九小の保護者の中には、ドローンを使って
肥料や農薬をまくための免許を持っている農家の方
がいらっしゃるのです。その方をお願いして、
除草剤をまいていただきました。

上手に操縦しながら、あっというまに、田んぼ
全体にまきおえることができました。

後から、「本当にまいてあるの？」と思って田
んぼの中を見たら、つぶつぶの除草剤が田んぼの
あっちにもこっちにも落ちていて、水の中で溶け始めていました。すごいね。今の技術は。



8月5日 中干しでカピカピになった田んぼ



ところで、タニシたちはどこに行ったのでしょうか？

暑い日が続く中、7月末に田んぼの水をぬきました。写真は8/5の様子です。地面にひびが入っていて、とてもよくなわいているのがわかりますね。草取りをするために中に入りましたが、全然足を取られることなく、作業をすることができました。この日は1時間半ほど草取りをしましたが、クサネムとミズガヤツリがたくさん生えていました。暑い！頭がクラクラする…

8月11日 まだ出穂しない…



中干しの後、水を入れると、稲は一気に成長して、穂を出します。そろそろかな？と思って見に行きましたが、まだでした。あと1週間くらいかかるかな。

地面には、中干しの後のひび割れがいたいたしく残っていました。

ところで、タニシはと言うと、どうもこの割れ目の中にいたようです。この日も割れ目から出てくるタニシを見かけました。



「おれは田んぼ王になる！」と言ったかどうかは知りませんが、一人の麦わら帽子をかぶった先生がぬきとった、草たちのひからびた姿です。かわいてもまだこんなに高い山になっているのを見ればどれだけ生えていたのかわかるでしょう。これはほんの一部です。

8月15日 出穂、そして、開花



今日はどうか？と見に行ったら、あっちでもこっちでも出穂していました。この様子だと、8/14には出穂していたようです。



あれっ、赤丸の中の穂はもう開花してる。よく見ると、あちらこちらで開花しています。白くポヤポヤと付いているのが花。去年とほぼ同じ日に開花するなんてびっくり。

8月22日 いなほが頭をたれ始めました



開花を確認してから、たった1週間で、もうこのとおり、お米がびっしりつまたいなほが頭をたれ始めました。早いですね。今年は豊作かな？！



でも、あのミズガヤツリもいっぱい育ってしまいました。田んぼにはもう水がいっぱい入っているので、草取りは大変！どうしよう…

田んぼの雑草コーナー



私が気に入っているのはこの花、たぶん「アカバナユウゲショウ」という名前だと思います。特に害はないようなので、この草は見つけてもかりとりません。

ミズガヤツリ。これが一番やっかい。なにしろ、右の写真で見えているのは、みんな兄弟。一本生えると足下から水中のくきを伸ばし、新たに根をはり2本目3本目…と増えていくのです。また、穂を出さないと稲とそっくりなので、なかなか見つけられない。さらに、上の方を引っ張ってぬこうとすると、穂の部分だけがキュッとぬけてしまうので、取り切れない。なんともにくらしいやつです。



ワルナスビ。こんなにかわいい花をさかせるのになんてひどい名前を付けるんでしょう。毎年見かけるので、いつもいやされていたのですが、実はあくまのような草らしいのです。何しろ、「かわいいね」とくきや葉をさわると、とげがいっぱい生えてていて痛い目にあうのだとか…。しかも一度生えると、もうやっつけることが不可能なほど、かりとっても、ぬきとっても土の中に体の一部が残っていれば、生き返ってしまうのだとか。

ほかにも、去年紹介した「クサネム」もいっぱい生えていて、見つけ次第ぬいていますが、減らない。困った…。

※草の名前は、私なりに一生懸命調べたつもりですが、もし間違っていたら教えてください。

8月27日 今年のごちそうしてあげないぞ！



うちの田んぼは、周囲の田んぼより早く米が実る品種のようで、今年も一番早く開花し、稲穂が実ってきています。…と言うことは、また今年もあいつにねられる。食いあらされる！！なんとかせねば。

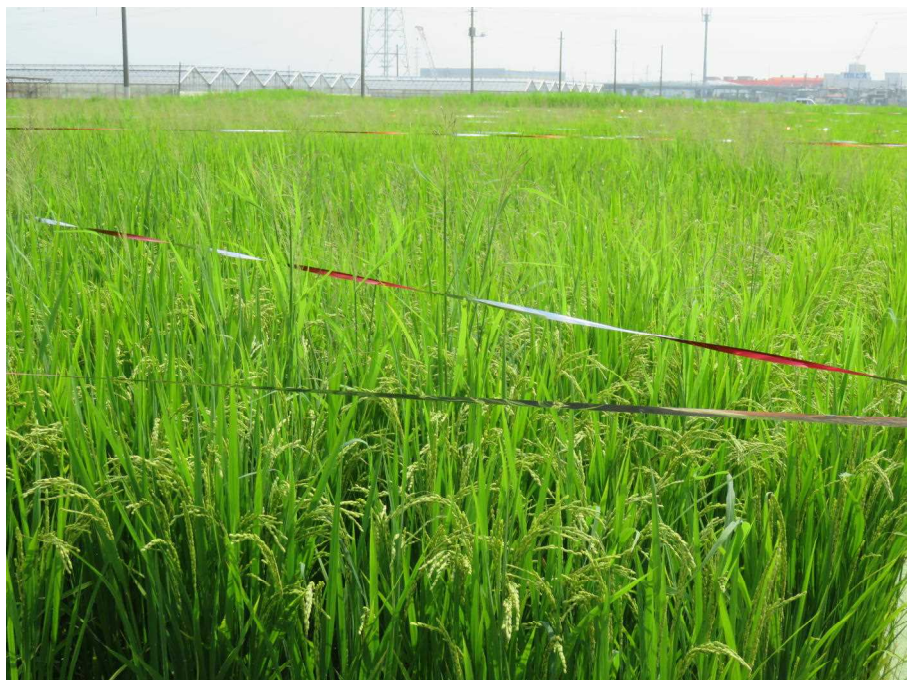
あいつとは、スズメちゃん。この時期の農家にとっては、にくい敵です。そこで…



今年はずいにやりました。あの麦わら帽子の男が一人で田んぼ一面に防鳥テープをはりまくりました。職員室にもどってきたかれは、真っ赤な顔をして、目まで真っ赤だったそうで、ものすごい戦いをしてきたことがよくわかります。

稲穂はもうこんなに育っています。スズメとの戦い、今年も勝てるか？！

ところで、あの麦わら帽子の男は、地上での戦いで一週間、田んぼでの戦いを休まざるをえない状態です。もう一週間、その状態が続くそうです…。その間、ミズガヤツリの一味がどんどん大きく育ち、稲の栄養を横取りしています。



だれか、九小農園の稲たちを守ってください。(>o<)

9月13日 再び麦わら帽子の男が田んぼの雑草を攻める



ミズガヤツリとクサネムの大軍と2日間、合計4時間、ドロ沼の中で戦った成果です。

でも、あんなにとったのに、ミズガヤツリからイネを助けることができたのは、手前のブロックだけ。雑草との戦いは「ドロ沼の戦い」です。



ところで、先日はった防鳥テープは効果があるようで、今のところスズメによるダメージはないようです。私が何度か見に行ったときに、たった一羽、勇気のあるスズメが近づいたのを見ましたが、それだけです。

さあ、お米が金色にかがやいてきました。もうすぐしゅうかくです。